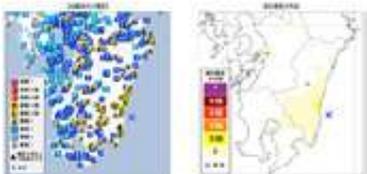


[BOSAI TIDBITS]

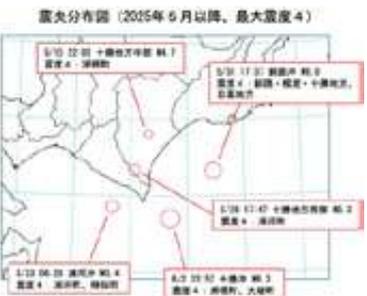
BOSAI+ Tidbits



1月13日、日向灘の地震の震度分布図・推計震度分布図(気象庁 1月13日21時38分発表) (画像クリックで拡大表示)



2月26日昼過ぎ、岩手県大船渡市で大規模な林野火災が発生、建物などに大きな被害。死者1人、建物被害210軒(うち住家102軒)。3月9日17:00に火災鎮圧。上写真は3月1日18時頃、崎浜漁港からの火災風景(Wikipedia)



5月中旬以降、北海道太平洋側でM5〜6程度、震度4を観測する地震が相次ぐ(気象庁資料より)

●2025年 国内で起こった主な災害を振り返る 1月〜6月 各地で林野火災、南トラ臨時情報(調査中)発表、道路陥没事故…

●2025年の自然災害 【国内編】

2025年は、2月に岩手県大船渡市で、3月には岡山県岡山市と玉野市、愛媛県今治市と西条市で住民避難を伴う大規模な林野火災が発生し、また11月には大分県大分市佐賀関で大規模な火災が発生し、林野にも延焼していた。これらを受けて、総務省消防庁が全国の自治体へ林野火災注意報・警報の運用開始を呼びかけ、2026年1月から全国で順次運用が始まるほか、気象庁も「少雨に関する気象情報」において、林野火災を明示し火の取り扱いへの注意を呼びかけるなど、対策が行われることとなった。以下、レスキューナウによる「[国内]2025年の災害」(文末にリンク)を参考に、編集部が再編集・抄録。

【1月】

〈雪害〉 24年12月末から25年1月5日にかけて、青森県・津軽、上北を中心に警報級の大雪となり、青森県酸ヶ湯で357cm、弘前で115cmの積雪を観測。この大雪の影響で屋根の雪下ろし中の事故などにより9人が死亡、140人が負傷。

〈地震〉 1月13日21:19頃、日向灘でM6.6の地震 宮崎県宮崎市や高鍋町、新富町で震度5弱、沿岸に一時津波注意報。負傷者4人、一部損壊2軒。気象庁は地震直後、地震の波形の一部から規模をM6.4と推定して津波の心配はないと発表したが、地震発生から約10分後に別の手法を用いた計算によりM6.9に更新、宮崎県と高知県に津波注意報を発表(宮崎港で20cmの津波観測)。マグニチュード更新により、南海トラフ地震との関連を調査する基準(監視領域内でM6.8以上の地震を観測)を上回ったことから、13日21:55に「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」が発表されたが、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」発表基準には達していないと評価され、13日23:45に「南海トラフ地震臨時情報(調査終了)」を発表。なお、14日に気象庁はこの地震のマグニチュードを6.6に更新した。

〈事故〉 1月28日10:00頃、埼玉県八潮市で交差点の道路が陥没してトラック巻き込まれた。救助活動は難航、トラック運転手が死亡。陥没箇所が拡大し、幅40m、深さ15mほどに。下水道管の損傷が大きく、完全復旧までには少なくとも2〜3年程度を要する見込み。

【2月】

〈雪害〉 2月4日から9日にかけて北日本から西日本の日本海側を中心に広い範囲で雪害発生、死者13人、負傷者187人。

〈強風〉 2月13日、三陸沖で発達した低気圧の影響で全国的に北寄りや西寄りの風が強まり、東北・関東で強風、建物への被害や交通機関の乱れ相次ぐ。負傷者10人以上。

〈林野火災〉 2月26日昼過ぎ、岩手県大船渡市で大規模な林野火災が発生、建物などに大きな被害。死者1人、建物被害210軒(うち住家102軒)。3月9日17:00に火災鎮圧。

【3月】

〈林野火災〉 前月に続き大規模な林野火災が発生。3月23日15:02頃、岡山県岡山市南区の貝殻山付近での林野火災は強風にあおられて延焼、28日正午に火災鎮圧。建物被害6軒。また、3月23日15:53頃、愛媛県今治市でも林野火災が発生、31日11:00に火災鎮圧。愛媛県での負傷者3人、建物被害22軒。

【4月】

〈落雷〉 4月10日17:50頃、奈良県奈良市帝塚山学園のグラウンドに落雷、生徒6人負傷。

〈地震〉 4月18日20:19頃、長野県北部でM5.1の地震、大町市などで震度5弱。

【5月】

〈地震〉 5月中旬以降、北海道太平洋側でM5〜6程度、震度4を観測する地震相次ぐ。

【6月】

〈大雨〉 6月9日から11日にかけて、梅雨前線の影響で鹿児島県を中心に大雨。

〈噴火〉 6月22日、霧島連山の新燃岳が噴火 航空便などに影響。

(次ページへ続く)

[BOSAI TIDBITS]

BOSAI+ Tidbits

●2025年 国内で起こった主な災害を振り返る 7月～12月
トカラ、カムチャツカ、大分佐賀関の大火、青森県東方沖の地震…

(前ページから続く)

【7月】

〈地震〉6月21日以降、鹿児島県トカラ列島近海で約2400回の活発な地震活動が続いている。一時島外避難者も。

〈地震〉7月30日08:24頃、ロシア・カムチャツカ半島東方沖でM8.8の地震。北海道から沖縄県にかけての広い範囲で津波を観測、死者1人、負傷者16人。

【8月】

〈大雨〉8月6日から12日にかけて、北日本から西日本にかけて記録的な大雨。鹿児島県・熊本県に大雨特別警報発表。死者8人、行方不明者1人、負傷者25人。

〈台風〉8月21日、台風12号が発生から約8時間後に鹿児島県へ上陸。

【9月】

〈台風〉9月4日に奄美大島の東で発生した台風15号が太平洋沿岸を横断、静岡県では国内最大規模の竜巻が発生。死者1人、負傷者80人以上、家屋損壊・浸水2500軒以上。

〈大雨〉9月11日午後、停滞していた秋雨前線の影響で、東京など首都圏で大雨。河川が氾濫し一時「緊急安全確保」の発令も。死者1人、行方不明者1人、浸水1200軒以上。

〈大雨〉9月20日から21日にかけて、北海道初の線状降水帯が十勝地方と釧路地方で発生。負傷者3人、家屋損壊61軒、家屋浸水25軒。

【10月】

〈大雨〉10月5日に台風22号、10月8日に台風23号が立て続けに伊豆諸島に接近、八丈島を中心に住宅被害多数。停電最大約7000軒、断水最大約4100軒。

〈事故〉25年秋以降、全国各地でクマによる人身被害が相次ぐ。被害者数は11月30日現在で230人、このうち死者数は13人、いずれも統計がある2006年度以降では最多。

【11月】

〈地震〉11月9日17:03頃、三陸沖を震源とするM6.9の地震、岩手県沿岸に津波注意報。

〈火災〉11月18日、大分県大分市佐賀関で大規模火災が発生。死者1人、負傷者1人、建物焼損187軒。全域の鎮火が確認されたのは火災発生から2週間以上経過した12月4日。この火災規模は2016年12月の新潟県糸魚川市大規模火災の焼損範囲よりも大きく、2024年1月能登半島地震で石川県輪島市で発生した大規模火災の焼損範囲に匹敵。

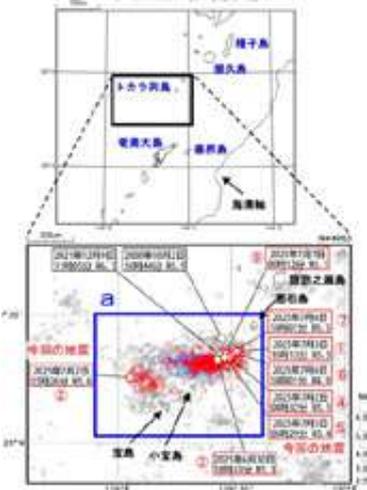
【12月】

〈地震〉12月8日23:15頃、青森県東方沖(八戸の東北東80km付近)を震源とするM7.5の地震。青森県八戸市で最大震度6強、北海道から近畿地方にかけての広い範囲で震度6弱～震度1の揺れを観測。また、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県に津波警報ほか津波注意報が発表され、岩手県久慈港で70cmの津波を観測。この地震を受け、気象庁と内閣府は22年12月運用開始後初となる「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表、日頃からの地震への備えの再確認を地震発生から1週間にわたって呼びかけた。負傷者47人 家屋被害337軒。

〈火災〉12月8日午前、群馬県富岡市妙義町諸戸の妙義山で林野火災。約2週間後の23日11:53に鎮火。人や建物の被害なし。12月9日15:00、神奈川県伊勢原市日向の日向山で林野火災。12日16:50に鎮圧、さらに4日後の16日16:35に鎮火。死者2人、負傷者26人。

〈事故〉12月26日19:30頃、群馬県みなかみ町石倉の関越自動車道下り線の水上IC付近で、車両多重事故。関係した車両は67台にのぼり、死者2人、重傷5人を含む26人が負傷。

>>レスキューナウ: [国内] 2025年の災害を振り返る



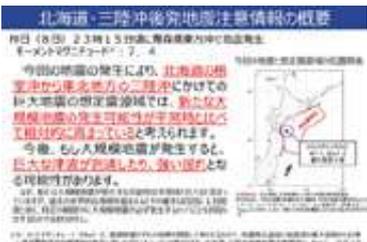
トカラ列島近海の地震活動(小宝島付近/地震本部資料より)



25年9月5日に静岡県牧之原市から吉田町にかけて発生した突風(領域A/防災科学技術研究所資料より)



NHK ONE:2025年11月19日午前5時12分報道より「ドローンで撮影 現場の状況」より静止画



12月8日青森県東方沖地震の発生で発表された「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の概要(内閣府資料より)

わが国最大級の防災イベントと災害史カレンダー >>随時更新……ここをクリック! **Bosai Plus** **防災カレンダー**